★西脇市の現状

（１）―１　障害者手帳所持者数の推移

①　障害者手帳所持者数

障害者手帳所持者数は、ほぼ横ばいで推移しています。対人口比では、令和７（2025）年度では6.5%となり令和２（2020）年度と比べ0.5ポイント増加しています。

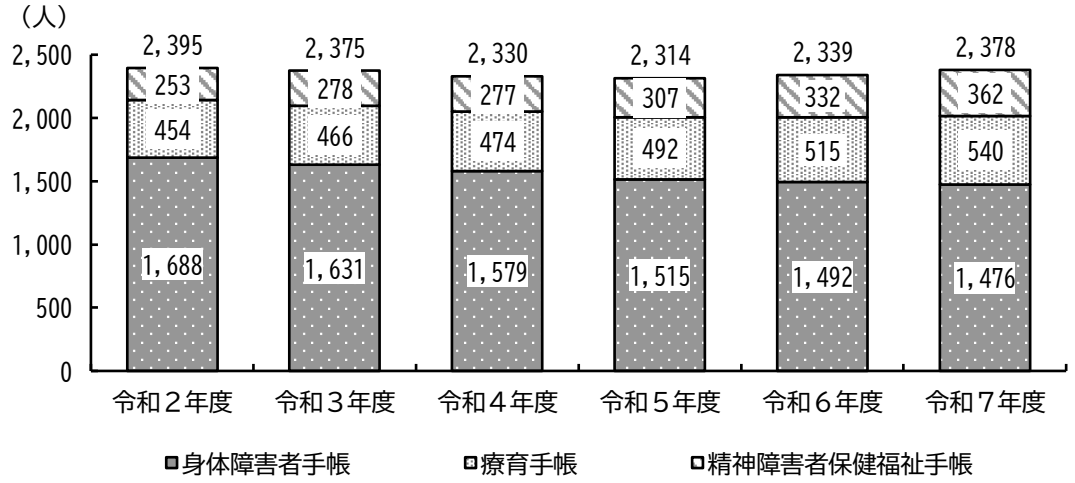
手帳別に見ると、身体障害者手帳所持者数は、減少傾向にありますが、療育手帳及び精神障害者保健福祉手帳所持者数は、増加傾向にあります。

人口と障害者手帳所持者数の推移

単位：人、％

	令和２年度（2020 年度）	令和３年度（2021 年度）	令和４年度（2022 年度）	令和５年度（2023 年度）	令和６年度（2024 年度）	令和７年度（2025 年度）	令和7年度（令和２年度比）
人口	39,684	39,026	38,551	37,978	37,447	36,843	92.8
障害者手帳所持者数	2,395	2,375	2,330	2,314	2,339	2,378	99.3
身体障害者手帳	1,688	1,631	1,579	1,515	1,492	1,476	87.4
療育手帳	454	466	474	492	515	540	118.9
精神障害者保健福祉手帳	253	278	277	307	332	362	143.1
手帳所持者数(対人口比)	6.0	6.1	6.0	6.1	6.2	6.5	108.3

資料：人口：住民基本台帳（各年度末人口を記載。各年４月１日人口を前年度末人口と扱う。）
手帳所持者数：社会福祉課(各年度手帳所持者数を記載。各年４月１日手帳所持者数を前年度末手帳所持者数と扱う。)



②　身体障害のある人の状況

②―１　年齢階層別身体障害者手帳所持者数の推移

身体障害者手帳所持者数を年齢階層別でみると、18歳未満は令和３（2021）年度以降、横ばいで推移しており、18歳～64歳及び65歳以上は減少しています。

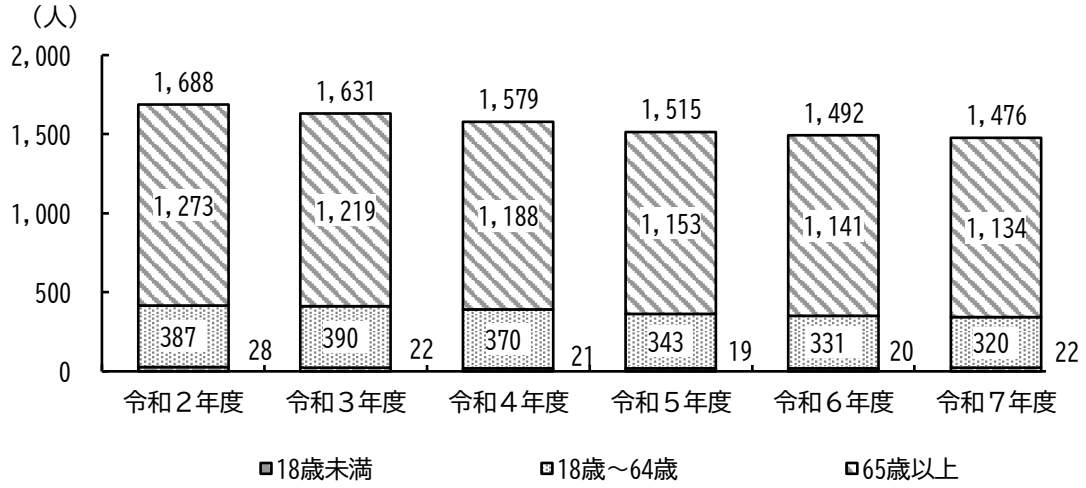
令和７（2025）年度では、全体の約75％が65歳以上となっています。

年齢階層別身体障害者手帳所持者数の推移

単位：人

	令和２年度（2020 年度）	令和３年度（2021 年度）	令和４年度（2022 年度）	令和５年度（2023 年度）	令和６年度（2024 年度）	令和７年度（2025 年度）
18 歳未満	28	22	21	19	20	22
18 歳～64 歳	387	390	370	343	331	320
65 歳以上	1,273	1,219	1,188	1,153	1,141	1,134
合計	1,688	1,631	1,579	1,515	1,492	1,476

資料：社会福祉課（各年度末日）



②―２　等級別身体障害者手帳所持者数の推移

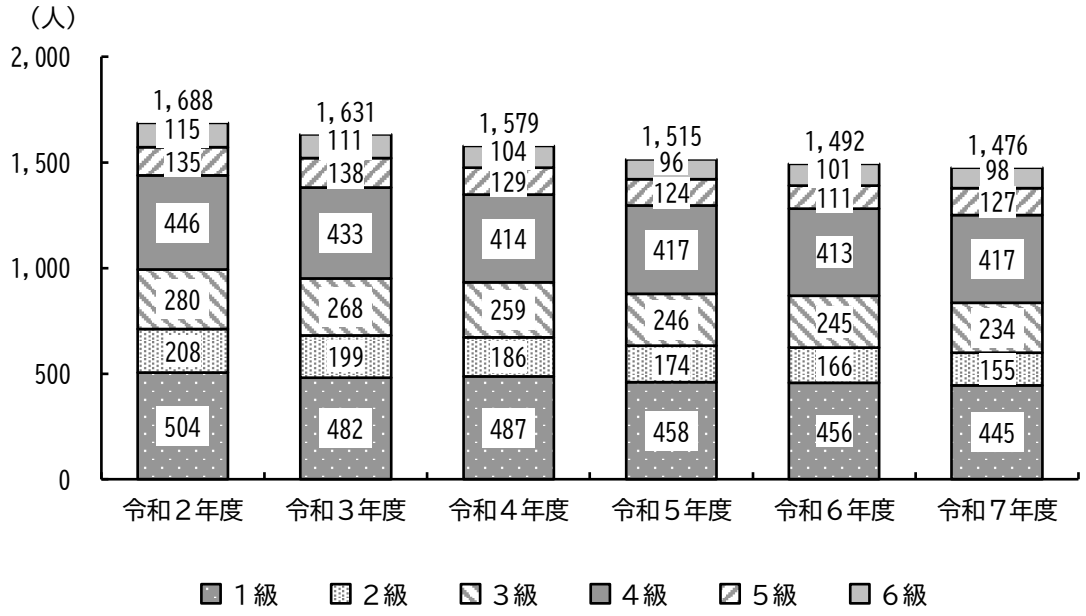
身体障害者手帳所持者数を等級別でみると、全体的に減少傾向にあります。いずれの年度も最重度である１級が最も多く、全体の約30%を占めており、令和７（2025）年度では445人になっています。

等級別身体障害者手帳所持者数の推移

単位：人

	令和２年度（2020 年度）	令和３年度（2021 年度）	令和４年度（2022 年度）	令和５年度（2023 年度）	令和６年度（2024 年度）	令和７年度（2025 年度）
１級	504	482	487	458	456	445
２級	208	199	186	174	166	155
３級	280	268	259	246	245	234
４級	446	433	414	417	413	417
５級	135	138	129	124	111	127
６級	115	111	104	96	101	98
合計	1,688	1,631	1,579	1,515	1,492	1,476

資料：社会福祉課（各年度末日）



②―３　部位別年齢階層別身体障害者手帳所持者数の推移

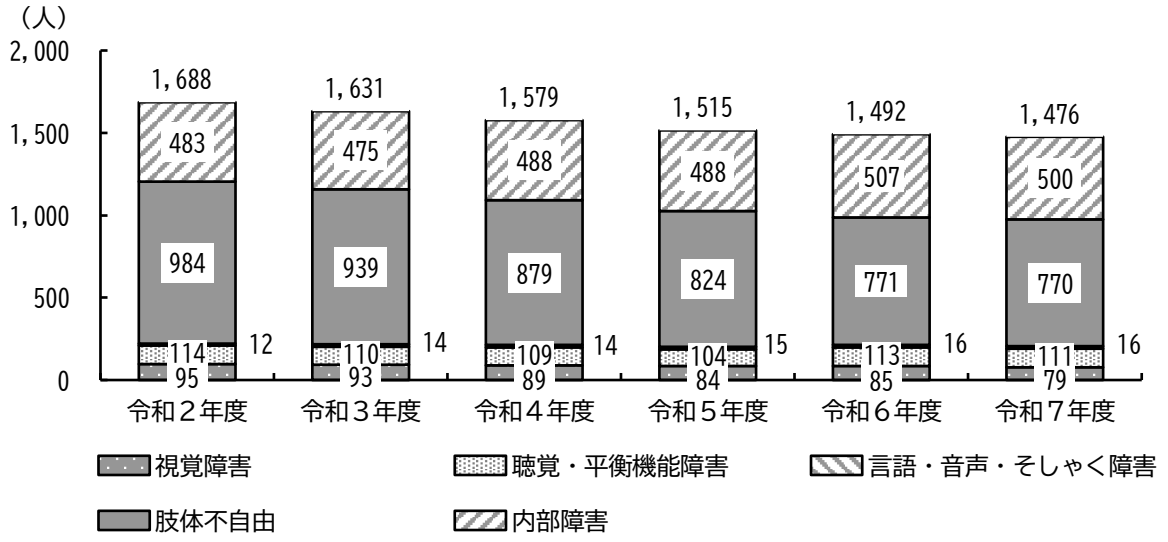
身体障害者手帳所持者数を部位別でみると、令和７（2025）年度では「肢体不自由」が770人と最も多く、全体の約52%を占め、次いで「内部障害」が500人で約34%となっています。

令和２（2020）年度から令和７（2025）年度にかけての推移をみると、「視覚障害」、「肢体不自由」が減少、「聴覚・平衡機能障害」、「言語・音声・そしゃく障害」、「内部障害」においては、ほぼ横ばいとなっています。

部位別年齢階層別身体障害者手帳所持者数の推移　　単位：人

		令和２年度（2020 年度）	令和３年度（2021 年度）	令和４年度（2022 年度）	令和５年度（2023 年度）	令和６年度（2024 年度）	令和７年度（2025 年度）
視覚障害	18 歳未満	2	2	2	2	2	2
	18 歳～64 歳	18	19	18	15	15	14
	65 歳以上	75	72	69	67	68	63
	小計	95	93	89	84	85	79
聴覚・平衡機能障害	18 歳未満	6	4	4	4	4	4
	18 歳～64 歳	22	25	23	22	23	24
	65 歳以上	86	81	82	78	86	83
	小計	114	110	109	104	113	111
言語・音声・そしゃく障害	18 歳未満	0	0	0	0	0	0
	18 歳～64 歳	2	2	3	3	4	4
	65 歳以上	10	12	11	12	12	12
	小計	12	14	14	15	16	16
肢体不自由	18 歳未満	14	11	9	8	8	10
	18 歳～64 歳	232	226	219	204	190	185
	65 歳以上	738	702	651	612	573	575
	小計	984	939	879	824	771	770
内部障害	18 歳未満	6	5	6	5	6	6
	18 歳～64 歳	113	118	107	99	99	93
	65 歳以上	364	352	375	384	402	401
	小計	483	475	488	488	507	500
合計	18 歳未満	28	22	21	19	20	22
	18 歳～64 歳	387	390	370	343	331	320
	65 歳以上	1,273	1,219	1,188	1,153	1,141	1,134
	小計	1,688	1,631	1,579	1,515	1,492	1,476

資料：社会福祉課（各年度末日）



③　知的障害のある人の状況

③―１　年齢階層別療育手帳所持者数の推移

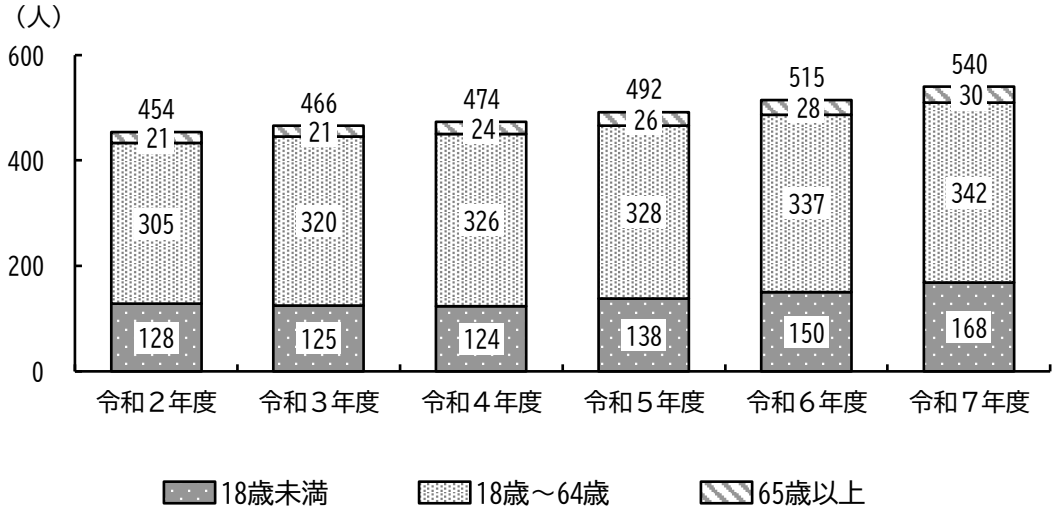
療育手帳所持者数を年齢階層別でみると、令和７（2025）年度においては、18～64歳未満の手帳所持者数は全体の約63%を占め、18歳未満の手帳所持者数は、全体の約31%で、いずれの年齢層においても増加傾向にあります。令和２（2020）年度と令和７（2025）年度を比較すると、18.9%の伸びを示しています。

年齢階層別療育手帳所持者数の推移

単位：人

	令和２年度（2020 年度）	令和３年度（2021 年度）	令和４年度（2022 年度）	令和５年度（2023 年度）	令和６年度（2024 年度）	令和７年度（2025 年度）
18 歳未満	128	125	124	138	150	168
18～64 歳未満	305	320	326	328	337	342
65 歳以上	21	21	24	26	28	30
合計	454	466	474	492	515	540

資料：社会福祉課（各年度末日）



③―２　判定別年齢階層別療育手帳所持者数の推移

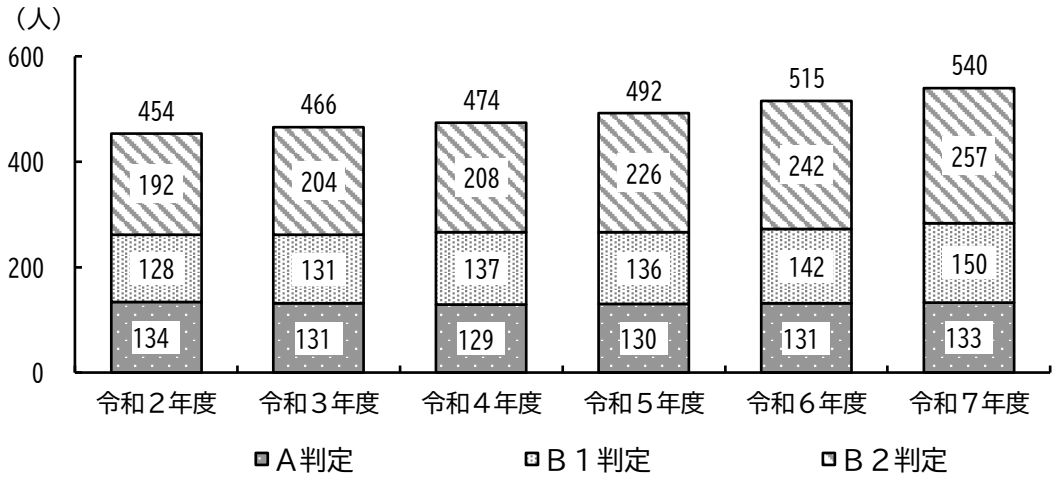
療育手帳所持者数を判定別でみると、Ａ判定は横ばいですが、Ｂ１及びＢ２判定は、年々増加の傾向にあります。令和２（2020）年度と令和７（2025）年度を比較すると、Ｂ２判定が33.9%、Ｂ１判定が17.2%の伸びを示しています。

判定別年齢階層別療育手帳所持者数の推移

単位：人

		令和２年度（2020 年度）	令和３年度（2021 年度）	令和４年度（2022 年度）	令和５年度（2023 年度）	令和６年度（2024 年度）	令和７年度（2025 年度）
Ａ判定	18 歳未満	24	21	20	21	23	24
	18 歳～64 歳	101	101	99	100	98	97
	65 歳以上	9	9	10	9	10	12
	小計	134	131	129	130	131	133
Ｂ１判定	18 歳未満	18	16	16	17	21	27
	18 歳～64 歳	102	108	112	108	109	111
	65 歳以上	8	7	9	12	12	12
	小計	128	131	137	137	142	150
Ｂ２判定	18 歳未満	86	88	88	100	106	117
	18 歳～64 歳	102	111	115	120	130	134
	65 歳以上	4	5	5	5	6	6
	小計	192	204	208	225	242	257
合計	18 歳未満	128	125	124	138	150	168
	18 歳～64 歳	305	320	326	328	337	342
	65 歳以上	21	21	24	26	28	30
	小計	454	466	474	492	515	540

資料：社会福祉課（各年度末日）



④　精神障害のある人の状況

精神障害者保健福祉手帳所持者数を年齢階層別でみると、18歳～64歳、65歳以上の手帳所持者数いずれも増加傾向となっています。

令和７（2025）年度においては、18歳～64歳の手帳所持者数が、全体の約79%を占め、65歳以上の手帳所持者数は約21%となっています。

また、精神障害者保健福祉手帳所持者数を等級別でみると、全体的に増加傾向となっています。

令和７（2025）年度における構成比をみると、２級が約59%、３級が約24%、１級が約16%となっています。

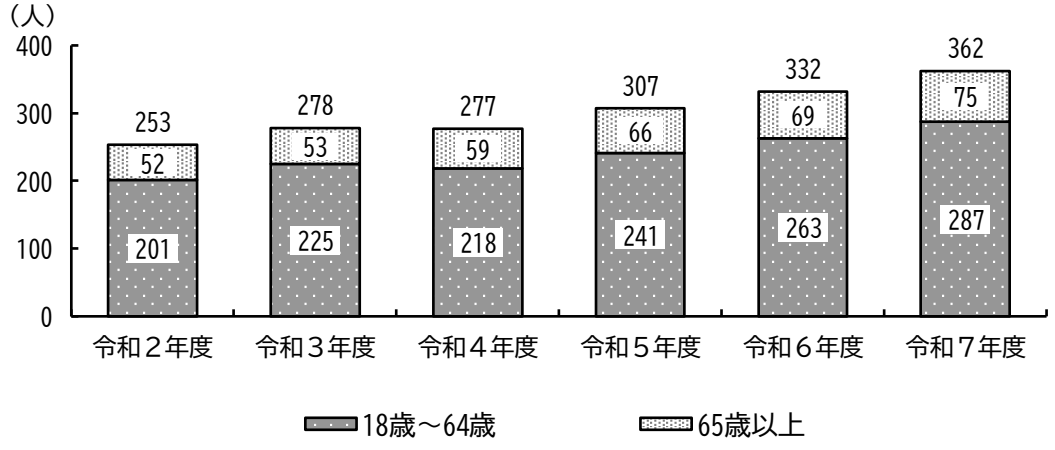
等級別年齢階層別精神障害者保健福祉手帳所持者数の推移

単位：人

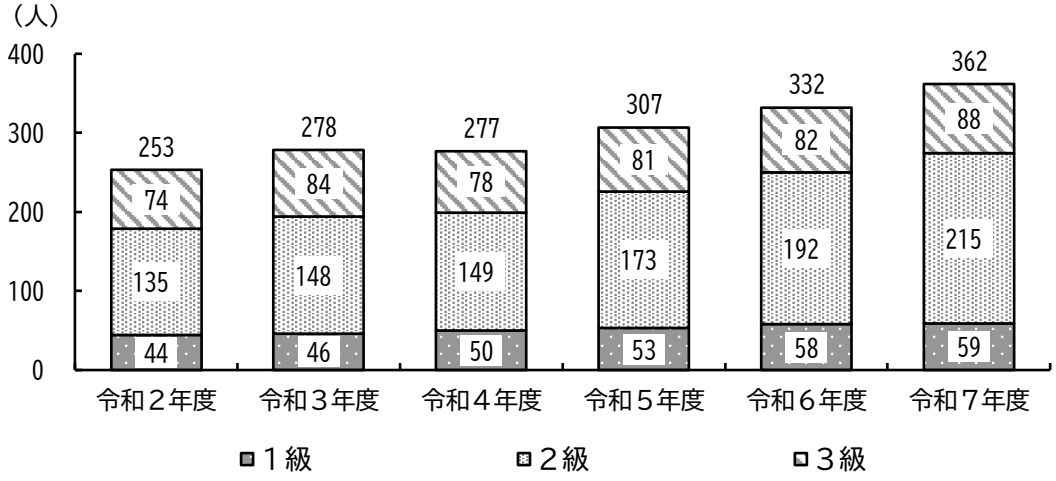
		令和２年度（2020 年度）	令和３年度（2021 年度）	令和４年度（2022 年度）	令和５年度（2023 年度）	令和６年度（2024 年度）	令和７年度（2025 年度）
１級	18 歳～64 歳	23	24	27	30	35	36
	65 歳以上	21	22	23	23	23	23
	小計	44	46	50	53	58	59
２級	18 歳～64 歳	110	123	119	133	150	173
	65 歳以上	25	25	30	37	40	42
	小計	135	148	149	170	190	215
３級	18 歳～64 歳	68	78	72	78	78	78
	65 歳以上	6	6	6	6	6	10
	小計	74	84	78	84	84	88
合計	18 歳～64 歳	201	225	218	241	263	287
	65 歳以上	52	53	59	66	69	75
	小計	253	278	277	307	332	362

資料：社会福祉課（各年度末日）

年齢階層別推移



等級別推移


（人）
400
300
200
100
0
253
74
135
44
278
84
148
46
277
78
149
50
307
81
173
53
332
82
192
58
362
88
215
59
令和２年度
令和３年度
令和４年度
令和５年度
令和６年度
令和７年度
１級
２級
３級

（1）―2　医療費助成制度の対象者の状況

①　自立支援医療受給者数の推移

自立支援医療受給者数の推移をみると、令和７（2025）年度は685人で、増加傾向となっています。

精神通院医療の受給者数は、精神障害者保健福祉手帳所持者数を大きく上回って推移しており、精神障害者保健福祉手帳所持者以外にも、精神的な疾病を抱える人が増える傾向にあります。

自立支援医療受給者数の推移

単位：人

	令和２年度（2020 年度）	令和３年度（2021 年度）	令和４年度（2022 年度）	令和５年度（2023 年度）	令和６年度（2024 年度）	令和７年度（2025 年度）
更生医療	13	14	14	18	19	25
育成医療	3	4	2	1	1	0
精神通院医療	588	578	559	611	625	660
合計	604	596	575	630	645	685

資料：社会福祉課（各年度末日）

②　福祉医療費助成対象者数の推移

福祉医療費助成制度のうち、障害のある人に係るものとして、重度・高齢重度障害者医療があります。重度・高齢重度障害者医療費助成対象者のうち、心身障害のある人は、年々減少傾向にある一方、精神障害のある人は増加傾向となっています。

重度・高齢重度障害者医療費助成対象者数の推移

単位：人

	令和２年度（2020 年度）	令和３年度（2021 年度）	令和４年度（2022 年度）	令和５年度（2023 年度）	令和６年度（2024 年度）	令和７年度（2025 年度）
心身障害のある人	711	685	670	643	626	608
精神障害のある人	34	35	38	44	47	51

資料：社会福祉課（各年度末日）

③　特定医療費（指定難病）受給者証所持者数等の推移

令和７（2025）年度の特定医療費（指定難病）受給者証所持者は396人、小児慢性特定疾病支給認定者数は21人となっています。令和２（2020）年度と令和７（2025）年度を比較すると、特定医療費（指定難病）受給者証所持者数は増加、小児慢性特定疾病支給認定者数は横ばいとなっています。

特定医療費（指定難病）受給者証所持者数等の推移

単位：人

	令和２年度（2020 年度）	令和３年度（2021 年度）	令和４年度（2022 年度）	令和５年度（2023 年度）	令和６年度（2024 年度）	令和７年度（2025 年度）
特定医療費（指定難病）受給者証所持者数	337	319	328	348	370	396
小児慢性特定疾病支給認定者数	21	19	19	15	16	21

資料：社会福祉課（各年度末日）

④　医療的ケア児・者数の推移

医療的ケア児・者は、横ばいで推移しており、令和７（2025）年度は11人となっています。

医療的ケア児・者数の推移

単位：人

	令和２年度（2020 年度）	令和３年度（2021 年度）	令和４年度（2022 年度）	令和５年度（2023 年度）	令和６年度（2024 年度）	令和７年度（2025 年度）
医療的ケア児・者数	10	10	9	9	10	11

資料：社会福祉課（各年度末日）

（1）―3　就業及び就学の状況

①　障害のある人の就業の状況

西脇公共職業安定所管内の障害のある人の就職件数は、年度により変動はあるものの、直近３年間では身体障害のある人及び知的障害のある人の成功率は増加傾向、精神障害がある人の成功率は減少傾向にあります。

障害のある人の就業の状況

単位：件、％

		令和２年度（2020 年度）	令和３年度（2021 年度）	令和４年度（2022 年度）	令和５年度（2023 年度）	令和６年度（2024 年度）	令和７年度（2025 年度）
身体障害のある人	紹介件数	142	210	104	133	150	146
	就職件数	46	44	37	30	40	46
	成立率	32.4	21.0	35.6	22.6	26.7	31.5
知的障害のある人	紹介件数	69	57	64	131	116	93
	就職件数	53	29	29	53	51	58
	成立率	76.8	50.9	45.3	40.5	44.0	62.4
精神障害のある人	紹介件数	146	196	235	242	274	327
	就職件数	42	55	76	83	87	80
	成立率	28.8	28.1	32.3	34.3	31.8	24.5
合計	紹介件数	357	463	403	506	540	566
	就職件数	141	128	142	166	178	184
	成立率	39.5	27.6	35.2	32.8	33.0	32.5

資料：西脇公共職業安定所

西脇市が雇用している障害のある人の状況

単位：人、％

	令和４年度（2022 年度）	令和５年度（2023 年度）	令和６年度（2024 年度）	令和７年度（2025 年度）
市が雇用している障害のある人	18	19	19	※18.5
雇用率（市）	2.57	2.69	2.69	2.86
雇用率（市教育委員会）	2.84	3.01	2.89	2.85
※内訳（障害別）	○身体障害 15 人 ○知的障害１人 ○精神障害６人	○身体障害 18 人 ○知的障害１人 ○精神障害３人	○身体障害 19 人 ○知的障害２人 ○精神障害２人	○身体障害 22.5 人 ○知的障害３人 ○精神障害１人

資料：総務課（各年度６月１日現在）

※１人であっても、重度の場合は２人換算。週の勤務時間が 20 時間以上 30 時間未満の場合は 0.5 人で換算

西脇市から福祉施設等への優先調達状況

単位：千円

	令和４年度（2022 年度）	令和５年度（2023 年度）	令和６年度（2024 年度）	令和７年度（2025 年度）
目標額	4,000	4,000	4,000	5,000
実績額	3,902	4,022	6,566	7,990

資料：社会福祉課

②　障害のある子どもの就学等の状況

就学前教育・保育施設における障害のある子どもの在籍者数は、令和２（2020）年度以降、増減を繰り返しています。

特別支援学校の在籍者数は、全体的に増加傾向である一方で、特別支援学級の在籍者数は全体的に減少傾向にあります。

就学前教育・保育施設における障害のある子どもの在籍者数の推移

単位：人

	令和２年度（2020 年度）	令和３年度（2021 年度）	令和４年度（2022 年度）	令和５年度（2023 年度）	令和６年度（2024 年度）	令和７年度（2025 年度）
在籍者数	26	26	33	25	32	31

資料：幼保連携課

特別支援学校・特別支援学級の在籍者数の推移

単位：人

		令和２年度（2020 年度）	令和３年度（2021 年度）	令和４年度（2022 年度）	令和５年度（2023 年度）	令和６年度（2024 年度）	令和７年度（2025 年度）
特別支援学校		45	40	37	45	54	60
	小学部	14	18	21	20	19	20
	中学部	6	8	7	14	19	18
	高等部	25	14	9	11	16	22
特別支援学級		133	130	125	123	106	88
	小学部	95	95	93	93	75	69
	中学部	38	35	32	30	31	19

資料：学校教育課・北はりま特別支援学校（各年度末日）